



TITLE:

深さ1の素イデアルによって判定可能な性質 (代数幾何学への可換環論の応用)

AUTHOR(S):

吉田, 憲一

---

CITATION:

吉田, 憲一. 深さ1の素イデアルによって判定可能な性質 (代数幾何学への可換環論の応用). 数理解析研究所講究録 1980, 400: 70-80

ISSUE DATE:

1980-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/102269>

RIGHT:

## 深さ1の素イデアルによって判定可能な性質

阪大 理学部 吉田 憲一

$A$  をネーター的可換環で単位元を持つものとする。ここで我々は有限生成  $A$ -加群  $M$  についての性質の中で、特に  $\Delta(M) = \{ \mathfrak{p} \in \text{Spec } A : \text{ht } \mathfrak{p} > 1, \text{depth } M_{\mathfrak{p}} = 1 \}$  によって判定可能な  $M$  に関する性質のいくつかを取り扱ってみたい。

そのためにまず  $\Delta(M)$  の特徴づけを行なう。そこでまず有限生成  $A$ -加群  $N$  に対して  $\text{Ass}_A(N)$  を考える。

$\text{Ass}(N) \subseteq \text{Hti}(A)$  のとき  $N$  を *uniform module with hti* と呼ぼう、特に  $\text{Ass}(N) = \{\mathfrak{p}\}$  の時、 $N$  は  $\mathfrak{p}$  に属する *coprimary module* と呼ばれる。

有限生成  $A$ -module  $N$  に対して  $N_i = \{n \in N : \text{ht Ann}_A(n) \geq i\}$  と定めれば、 $N_i$  は  $N$  の submodule で、ある整数  $d \geq 0$  が存在して次の減少列ができる。

$$N = N_0 \supseteq N_1 \supseteq \cdots \supseteq N_d \supsetneq N_{d+1} = (0).$$

この  $\{N_i\}$  に関して次の命題を得る。

命題: (i)  $D_i(N) = \{P \in H_i(A) : P \supseteq \text{Ann } N_i\}$  とおけば " $D_i(N) = \{P \in \text{Ass}(N) : \text{ht } P = i\}$ ", 従って  $\text{Ass}(N) = \bigcup_{i=0}^d D_i(N)$  を得る。  
 (ii)  $N_i/N_{i+1}$  は uniform module with  $\text{ht } i$ .  
 (iii)  $f \in A$  を  $N$ -regular element とすれば,  $fN \cap N_i = fN_i$ ,  
 従って  $N/fN \cong N_0/fN_0 \cong \cdots \cong N_d/fN_d$  を得る。

証明: (i)  $P \supseteq \text{Ann } N_i$  とすれば,  $N_i$  の定義及び  $N_i$  が有限生成であるから,  $\text{ht } P \geq i$  であることが安易にわかる。従って  $\text{ht } P = i$  で  $P \supseteq \text{Ann } N_i$  とすれば  $P$  は  $\text{Ann } N_i$  の minimal prime divisor であるから  $P \in \text{Ass}(N_i) \subseteq \text{Ass}(N)$ 。逆に  $P \in \text{Ass } N$  で  $\text{ht } P = i$  とする。このとき  $m \in N$  で  $\text{Ann}(m) = P$  となるものが存在するから  $N_i$  の定義より  $m \in N_i \therefore \text{Ann } N_i \subseteq \text{Ann}(m) = P$ , 従って  $P \in D_i(N)$  である。

(ii) 次に  $\text{Ass}(N_i/N_{i+1}) = D_i(N)$  を示す。  $P \in D_i(N)$  とすれば,  $m \in N_i$  があって  $\text{Ann}(m) = P$ ,  $\bar{m}$  を  $m$  の residue class とすれば  $\text{Ann}_{N_i/N_{i+1}}(\bar{m}) \supseteq P$ 。今  $\text{Ann}(\bar{m}) \not\supseteq P$  とすれば,  $x \in \text{Ann}(\bar{m})$ ,  $x \not\in P$  が存在する。このとき  $xm \in N_{i+1}$ , 従って  $P \not\supseteq \text{Ann}(xm)$  であるが一方  $\text{Ann}(xm) = \text{Ann}(m) : xA$  で  $x \not\in P$  ゆえに  $P \supseteq \text{Ann}(m) : xA = \text{Ann}(xm)$ , これは矛盾。従って  $D_i(N) \subseteq \text{Ass}(N_i/N_{i+1})$ 。  $P \in \text{Ass}(N_i/N_{i+1})$  とする。  $\bar{m} \in N_i/N_{i+1}$  があって  $P = \text{Ann}(\bar{m})$ 。  $m$  を  $\bar{m}$  の代表元とすれば,  $m \in N_i$ 。  $P = \text{Ann}(\bar{m}) \supseteq \text{Ann}(m)$  で  $m \in N_i$

だから  $\text{ht } \mathfrak{p} \geq i$ . 今  $\text{ht Ann}(m) > i$  とすれば  $m \in N_{i+1}$  だから  $\bar{m} = \bar{0}$  となり矛盾する。そこで  $\text{ht Ann}(m) = i$  である。  $\mathfrak{p} \ni x$  に対して  $xm \in N_{i+1}$  ゆえに  $\text{ht } \mathfrak{p} = i$ , 従って  $\mathfrak{p} \in D_i(N)$ .  $\therefore \text{Ass}(N_i/N_{i+1}) \subseteq H_i(A) \therefore N_i/N_{i+1}$  は uniform module with  $\text{ht } i$ .

(iii)  $f \in A$  を  $N$ -regular element とすれば,  $f \notin \mathfrak{p}$ ,  $\mathfrak{p} \in \text{Ass}(N)$ . 今  $m \in N$  で  $fm \in N_i$  とする。  $f \notin \mathfrak{p}$ ,  $\mathfrak{p} \in \text{Ass}(N)$  ゆえに  $\text{Ann}(fm) = \text{Ann}(m)$ .  $fm \in N_i$  ゆえに  $\text{Ann}(fm) = \text{Ann}(m)$  の prime divisor はすべて  $\text{ht} \geq i$  ゆえに  $m \in N_i$ .

$A$  を integral domain から  $A$  の integral closure  $\bar{A}$  は有限  $A$ -module で  $\text{ht } \mathfrak{p}_i A = 1$ , for  $\mathfrak{p} \in H_t(\bar{A})$  を満たすものとする。  $M$  を torsion free finite  $A$ -module とすれば, ある  $\bar{A}$ -free module  $F$  で  $M \subseteq F \subseteq M \otimes_A Q(A)$  とするものが存在する。  $\phi: F \longrightarrow N = F/M$  として  $\phi^{-1}(N_i) = M_i$  とおけば

$$M_2 \supseteq M_3 \supseteq \cdots \supseteq M_d \supsetneq M_{d+1} = M$$

なる  $F$  の sub-modules の減少列が与えられる。

命題: (i) この chain は  $F$  のとり方に依らない。

$$(ii) \text{Ass}(M_2/M) = \Delta(M)$$

$$(iii) \mathfrak{p} \in D_c(M_2/M) \text{ で } \mathfrak{q} \subseteq \mathfrak{p} \text{ に属する primary ideal とすれば,}$$

$$\text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^1(A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{q}A_{\mathfrak{p}}, M_{\mathfrak{p}}) = \text{Hom}_{A_{\mathfrak{p}}}(A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{q}A_{\mathfrak{p}}, M_2/M_{i+1}) = \{\bar{m} \in M_2/M_{i+1} \mid \text{Ann}(\bar{m}) \subseteq \mathfrak{q}\} \otimes A_{\mathfrak{p}}$$

系:  $\Delta(M)$  は有限集合である。

証明 (i)  $F_1, F_2$  を条件を満たす  $\bar{A}$ -free module とすれば,  
 $F_1, F_2$  を含むものが存在するから, 我々は  $M \subset L \subset F$ ,  $L, F$  は  
 free  $\bar{A}$ -module, で  $F/M$  から得られるものを  $M_2$ ,  $F/M$  から得られ  
 るものを  $N_2$  とすれば  $M_2 = N_2$  であることを示せばよい。  $F/M \cong$   
 $F/M$  で  $\text{ht Ann}(M_2/M) > 1$  ゆえ  $N_2 \subseteq M_2$  は明らか。逆を示す。そ  
 のためには、 $M_2 \subseteq L$  を示せばよい。今  $M_2 \not\subseteq L$  とする。  $N = M_2$   
 $+ L$  とおく。このとき  $L \subset N \subseteq F$  であるから  $\text{Ann}(N/L) \subseteq \text{Ann}$   
 $(M_2/M)$ 。従って  $\text{ht Ann}(M_2/M) > 1$  だから  $\text{ht Ann}(N/L) > 1$ 。  $\mathfrak{p}$  を  
 $\text{Ann}(N/L)$  の minimal prime divisor とする。このとき  $\mathfrak{p} \in$   
 $\text{Ass}(N/L)$  だから  $\text{Hom}_{A_{\mathfrak{p}}}(A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}, (N/L)_{\mathfrak{p}}) \neq (0)$ 。  $\text{ht}_{\mathfrak{p}} > 1$  故  $\text{depth}$   
 $\bar{A}_{\mathfrak{p}} > 1$ , 従って  $\text{depth } L_{\mathfrak{p}} > 1$  から我々は、  $0 \longrightarrow L \longrightarrow N$   
 $\longrightarrow N/L \longrightarrow 0$  (exact) から

$$\text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^0 \left( \underset{(0)}{A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}}, L \right) \rightarrow \text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^0 \left( \underset{(0)}{A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}}, N/L \right) \rightarrow \text{Ext}_{A_{\mathfrak{p}}}^1 \left( \underset{(0)}{A_{\mathfrak{p}}/\mathfrak{p}A_{\mathfrak{p}}}, L \right)$$

これは矛盾。だから  $\text{Ann}(M_2) = A$ , よって  $M_2 \subseteq L$  を得る。

補題:  $\text{ht } P \cap A = 1$ ,  $P \in \text{Ht}_1(\bar{A})$  の仮定のもとでは  $\text{ht } P > 1$  であれば  $\text{depth } \bar{A}_P > 1$ 。

証明 (i)  $\phi: A \longrightarrow B$  を noetherian rings の homomorphism,  $M$  を  $B$ -module とすれば  $\text{Ass}(M) = \phi^*(\text{Ass}_B(M))$ . 今  $\text{depth } \bar{A}_P = 1$  とすれば  $0 \neq a \in P$  で,  $P \in \text{Ass}_A(\bar{A}/a\bar{A})$ . 一方  $\text{Ass}_{\bar{A}}(\bar{A}/a\bar{A}) = \{P \in \text{Ht}_1(\bar{A}), P \ni a\}$ , 従って  $\text{Ass}_A(\bar{A}/a\bar{A}) = \phi^*(\text{Ass}_{\bar{A}}(\bar{A}/a\bar{A}))$  故  $P \in \text{Ht}_1(\bar{A})$  で  $P = P \cap A$  である。仮定から  $\text{ht } P = 1$ 。

(ii)  $P \in \text{Ass}(M_2/M)$  とすれば  $M_2$  の定義から  $\text{ht } P > 1$ , 従って  $\text{ht } F_P > 1$ , 又  $P \in \text{Ass}(F/M)$  故  $\text{Hom}_{A_P}(A_P/P A_P, F_P/M_P) \neq (0)$ . よって,  $0 \longrightarrow M_P \longrightarrow F_P \longrightarrow F_P/N_P \longrightarrow 0$  (exact) から我々は  $\text{Ext}_{A_P}^0(A_P/P A_P, F_P/M_P) \cong \text{Ext}_{A_P}^1(A_P/P A_P, M_P) \neq 0$  を得る。従って  $\text{depth } M_P = 1$  だから  $P \in \Delta(M)$ . 逆に  $P \in \Delta(M)$  とすれば  $\text{ht } P > 1$  で今示したことから,  $\text{Hom}_{A_P}(A_P/P A_P, F_P/M_P) \neq (0)$  従って  $P \in \text{Ass}(M_2/M)$ . 特に我々は  $\text{ht } P \cap A = 1$ ,  $P \in \text{Ht}_1(\bar{A})$ , の仮定がなくとも次の結果を得る。

命題:  $\{P \in \text{Spec } A : \text{depth } A_P = 1\} = \text{Ht}_1(A) \cup \text{Ass}(\bar{A}/A)$ .

(2) *seminormality* は *depth one* の イデアルで判定される。  
*seminormalization* 及び *seminormal* については先の数理解  
 析研講究録「可換環の研究」(No. 374)に詳しく述べたので、  
 ここではその結果のみを記する。

定理:  $A$  を  $S_1$ -条件を満たすネーター環,  $R$  を  $A$  と  $Q(A)$  の  
 中間環で有限  $A$ -module なるものとする。  $\phi: A \rightarrow R/A = N$   
 に対して  $\phi^{-1}(Ni) = A_i(R)$  とおくと,  $A_i(R)$  は  $R$  の部分環であ  
 る。このとき  $A$  が  $R$  の中で *seminormal* である必要充分条件  
 は conductor  $\mathfrak{f}(A_i(R)/A)$  が  $A_i(R)$  の *radical ideal* である。

$A$  が  $R$  の中で *seminormal* であれば,  $A$  は  $R$  の *glueings* で  
 与えられるが, それは  $\text{Ass}(R/A)$  によって次の様にして与えら  
 れる。

定理:  $A$  は  $R$  の中で *seminormal* で,  $\text{Ass}(R/A) = \{\mathfrak{p}_1, \dots, \mathfrak{p}_n\}$   
 とする。  $\mathfrak{p}_i$  上の  $R$  の *prime ideals* を  $P_{i1}, \dots, P_{ie_i}$ ,  $e_i \geq 1$ ,  
 とし元  $f \in R$  の  $P_{ij}$  による *residue class* を  $f(P_{ij})$  と書けば:

$$A = \{f \in R : f(P_{i1}) = \dots = f(P_{ie_i}) = k(\mathfrak{p}_i) \text{ for } i=1, \dots, n\}, \text{ ここで}$$

$$k(\mathfrak{p}_i) = Q(A/\mathfrak{p}_i) \text{ である。}$$

環の glueing の例を述べてみよう。

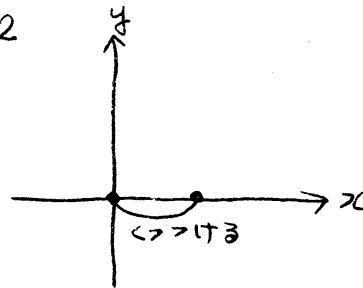
例1. 2つの平面上の2点をくっつけて1点にする。

$$R = k[x, y] e_1 + k[x, y] e_2, e_i e_j = \delta_{ij} e_i,$$

$$A = \{ \varphi_1(x, y) e_1 + \varphi_2(x, y) e_2 \in R : \varphi_1(0, 0) = \varphi_2(0, 0) \}$$

$$= k[x, y, z, v] / (xz, xv, yz, yv)$$

例2



$$R = k[x, y]$$

$$A = \{ \varphi(x, y) \in R : \varphi(0, 0) = \varphi(1, 0) \}$$

$$= k[x(x-1), x^2(x-1), y]$$

例3 1つの直線と1点をくっつける。tは変数。

$$A = \{ \varphi(x, y) \in k[x, y] : \varphi(t, 0) = \varphi(0, 1) \}$$

$$= k + (xy, (x+1)y) k[x, y].$$

Aはネーター的でない，従って有限生成でないが， $\bar{A} = k[x, y]$ である。

(2) overring RがA上 flat かどうかは depth one の prime ideals で判定できる。



定理:  $A$  をネーター整域,  $R$  を  $A$  と  $Q(A)$  との間環とする。

このとき  $R$  が  $A$  上 flat である必要充分条件は  $A_P \supseteq R$ ,  
 または  $\exists R = R$  がすべての  $\text{depth } A_P = 1$  をみたす  $P \in \text{Spec } A$   
 に対して成り立つ事である。

証明:  $FA(R) = \{P \in \text{Spec } A : A_P \not\supseteq R\}$  の minimal element  
 は  $\text{depth } 1$  の prime ideal である事をまず示そう。  $P$  を  
 $FA(R)$  の minimal element として  $\text{depth } A_P > 1$  とすれば,  
 $A_P = \bigcup_{Q \subsetneq P} A_Q$  で  $Q \notin FA(R)$  ゆえに  $A_Q \supseteq R$  から  $A_P \supseteq R$  と  
 なり矛盾する。

$R$  が  $A$  上 flat である必要充分条件は  $P \in \text{Spec } A$  に対して,  
 $A_P \supseteq R$  または  $\exists R = R$  であるから  $FA(R)$  の minimal element  
 $P$  は  $\text{depth } 1$  で, 仮定から  $\exists R = R$  ゆえに我々の証明は終わ  
 る。

(3) flat overring  $R$  が  $A$  上で有限生成であることは  
 $\text{depth } 1$  によって決まる。

命題,  $R$  が  $A$  上環として有限生成ならば  $FA^*(R) = \{P \in \text{Spec } A$   
 $: \text{depth } A_P = 1, A_P \not\supseteq R\}$  は有限集合。逆に  $R$  が  $A$  上 flat の  
 とき  $FA^*(R)$  が有限集合であれば  $R$  は  $A$  上有限生成である。

証明:  $R = A[\alpha_1, \dots, \alpha_n]$ ,  $\alpha_i \in R$  とする。  $\alpha_1, \dots, \alpha_n$  の共通分母の 1 つ  $x$  とすれば,  $F_A^*(R) \subseteq \{P \in \text{Spec } A : P \text{ は } xA \text{ の prime divisor}\}$  から  $F_A^*(R)$  は有限集合である。

$R$  は  $A$  上 flat とし,  $F_A^*(R) = \{P_1, \dots, P_r\}$  とする。  $\alpha_i = \frac{a_i}{x} \in \frac{R}{P_i} \subseteq \frac{R}{P_i} \cap \dots \cap \frac{R}{P_r} \subseteq \frac{R}{C}$  とおくと,  $\alpha_i R = R$ , 従って  $\alpha_1, \dots, \alpha_n \in R$ ,  $a_1, \dots, a_n \in R$  で  $\sum \alpha_i \alpha_i = 1$ .  $C = A[\alpha_1, \dots, \alpha_n] \subseteq R$  とおく。

$C$  は  $A$  上 flat で  $F_A^*(R) = F_A^*(C)$  は簡単にわかる。  $\rightarrow A$  上 flat ゆえに  $R = \bigcap_{P \in F_A^*(R)} A_P$ ,  $\text{depth } A_P = 1$ , から  $R = C$  となる。

(4)  $R \subseteq A$  の拡大整域とする。  $R$  の中で  $A$  が root closed とは,  $t \in R$  で今ある整数  $n > 0$  があって  $t^n \in A$  であれば  $t \in A$ 。  $R \subseteq A$  と  $\mathbb{Q}(A)$  の中間環とすれば,  $A$  が  $R$  の中で root closed である必要充分条件は,  $A$  が  $A$  の  $R$  の中での integral closure の中で root closed. そこで  $R$  は  $A$  上 integral とすれば,  $A$  が root closed であれば  $A$  は  $R$  の中で seminormal であるが特に次の判定法を得る。

命題  $R$  は  $A$  上 integral で birational とする。 このとき  $A$  は  $R$  の中で root closed である必要充分条件は,  $\text{Ass}(R/A)$  の  $P$ ,  $\text{ht } P = 1$ , に対して conductor  $e(A_{\mathbb{Q}}(R)/A)$  は  $A_{\mathbb{Q}}(R)$  の radical ideal で  $P$  上の  $A_{\mathbb{Q}}(R)$  の prime ideals は  $e$  個。

それを正とすれば,  $k(P)$  は  $k(P)$  の中で "root closed".

証明:  $\text{Ass}(R/A) = \{P_{ij}, \text{ht } P_{ij} = i, 1 \leq j \leq e_i\}$  とし,  
 $P_{ij}$  上の  $A_i(R)$  の prime ideal を  $P_{ij}$  とする.  $R \ni t, t^n \in A$   
 とし,  $t \in A_i(R)$  に関する induction で示す.  $t \in A_{i-1}(R)$  とする.  $t(P_{ij})^n \in k(P_{ij})$  で  $k(P_{ij})$  が  $k(P_{ij})$  の中で "root closed" 故  $t(P_{ij}) \in k(P_{ij})$ , 従って  $t \in A_i(R)$ , よって  $i = d$  のとき  $t \in A$  を得る.

$A$  は  $R$  の中で "root closed" とすれば  $A$  は  $R$  の中で "semi-normal" ゆえに  $\sqrt{(A_i(R)/A)}$  は  $A_i(R)$  の radical ideal.  
 $P = P_{ij}$  上の  $A_i(R)$  の prime ideals を  $P_1, \dots, P_u, u \geq 2$  とする.

$A$  は  $R$  の中で "root closed" 故  $A$  は  $A_i(R)$  の中で "root closed",  
 従って  $A_P$  は  $R_P$  の中で "root closed" である.

このとき  $A_P = \{\alpha \in R_P \mid \alpha(P_1) = \dots = \alpha(P_u) \in k(P)\}$  である  
 が,  $R_P \otimes_{A_P} k(P) = k(P_1) \times \dots \times k(P_u)$  ゆえにある元  $\alpha \in R_P$  で  
 $\alpha(P_1) = -1, \alpha(P_2) = \dots = \alpha(P_u) = 1$  なるものがある. 従って  
 $\alpha^2 \in A_P$  で  $\alpha \notin A_P$ , これは  $A_P$  が "root closed" であることに  
 反する. 従って  $P_{ij}$  上の  $A_i(R)$  の prime ideals はただ一つ,

これを  $P_{ij}$  とすれば  $R(p_{ij})$  が  $R(P_{ij})$  の中で *root closed* であることは今示したことで明らかとなる。